

図書館の本棚から(一般)

2018年9・10月号 亀山市立図書館

●おいしい時間をあの人と 伊藤まさこ

矢野顕子、黒木華、阿川佐和子、黒川光博(虎屋 17 代店主) -。伊藤まさこが、そのときそのとき、一番会いたいと思った 20 人と、食べたり、飲んだり、あんなことやこんなことを語り合った対談集。

○おひとりさまのゆたかな年収200万生活 おづまりこ

年収約 200 万円の派遣 OL として暮らしてきた著者が描く「ゆる節約生活」コミックエッセイ。今ある年収で、自分らしく満たされた生活を送るヒントを紹介する。

●カサンドラ 桑原水菜

昭和 28 年、夏。1 隻の豪華客船が横浜を出航する。大臣の護衛として乗船した入江秀作は、周囲に目を光らせていた。入江の真の任務は機密情報流出の阻止と、それを持ち出した者の抹殺だった…。船上サスペンス。

○失職女子。 大和彩

リストラ、100 社連続不採用、貯金ゼロ。生活に困って途方にくれていたとき、生活保護を知った。借金・風俗勤務・自死のどれにしようか悩んでいた元 OL が生活保護を受給するまでのナマナマしいドキュメント。

●陰陽師 夢枕獏

安倍清明は従四位下、大内裏の陰陽寮に属する陰陽師。死霊や生霊、鬼などの妖しのもの相手に、親友の源博雅と力を合わせこの世ならぬ不可思議な難事件にいどみ、あざやかに解決する。

○諦めない力 佐藤信夫

コーチ生活 50 年、スケート人生 65 年。浅田真央、小塚崇彦、安藤美姫らを育てた名伯楽が、スケートとコーチングの極意を語る。極秘エピソードが満載。

●男ふたりで 12 ヶ月ごはん 榎野道流

眼科医の遠峯が暮らす芦屋の一軒家に、高校時代の後輩でスランプ中の作家・白石が転がり込み、突然同居生活が始まった。みそ炒り卵、コロケ載せチキンカレー…。今日もふたりで「いただきます!」。男ふたりのごはん歳時記。

○もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら 神田桂一

もしも村上春樹がカップ焼きそばの容器にある「作り方」を書いたら。ツイッターで拡散された文体遊戯をパワーアップ。太宰治、コナン・ドイル、小沢健二など、100 人の多彩な文体で「カップ焼きそばの作り方」を綴る。

●曙光の街 今野敏

元 KGB の殺し屋・ヴィクトルが日本に潜入した。標的は赤坂で勢力を伸ばすヤクザ組長。迎え撃つのは、プロ野球生活に挫折して組幹部になった兵藤と、警視庁公安部の倉島警部補。3 人が緊迫した戦いの果てに見いだしたものは?

